

平成18年5月30日

## カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェール 平成17年度決算のご報告

カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェール(通称:カーディフ損害保険会社、日本における代表者:青木 淳、本社所在地:東京都渋谷区桜丘町20-1渋谷インフォスター9階)は、5月30日、平成17年度(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の業績を発表しました。

### 業績ハイライト

平成17年度における業績は以下の通りです。

- ◆ 正味収入保険料は、375百万円を計上しました。
- ◆ 税引前当期純損失は、7百万円を計上しました。
- ◆ 平成18年5月30日現在、商品提供先は、金融機関29社(銀行28行)、ノンバンク10社に増加しました。

なお、本冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

カーディフ損害保険会社 マーケティング・営業部 小池

電話 03-6415-6375

平成 18 年 5 月 30 日

## 平成 17 年度決算報告

カーディフ・アシュアランス・リスク・ディヴェール（通称：カーディフ損害保険会社、日本における代表者：青木 淳、本社所在地：東京都渋谷区桜丘町 20-1 渋谷インフォスター9 階）の平成 17 年度（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績を報告します。

### < 目 次 >

1 . 主要業績.....	2 頁
2 . 平成 17 年度資産運用状況.....	2 頁
3 . 貸借対照表 .....	3 頁
4 . 損益計算書 .....	5 頁
5 . 債務者区分による債権およびリスク管理債権の状況.....	6 頁
6 . ソルベンシー・マージン比率.....	6 頁

# 平成 17 年度決算報告

## 1. 主要業績

(1) 保険料及び保険金一覧表

(単位：百万円、%)

種 目	正 味 収 入 料 保 險	構 成 比	対前年度比	正 味 支 払 金 保 險	構 成 比	対前年度比
傷 害	137	36.6	138.3	10	41.6	128.5
費用利益	238	63.4	193.4	14	58.4	129.6
計	375	100.0	168.8	24	100.0	129.1

(2) 元受正味保険料

(単位：百万円、%)

種 目	金 額	構 成 比	対前年度比
傷 害	145	37.9	145.8
費用利益	238	62.1	193.4
計	383	100.0	172.1

(注) 収入積立保険料はありません。

(3) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

区 分	平成 16 年度	平成 17 年度	
			対前年度比
保 險 引 受 収 益	283	375	132.7
( 収 入 保 険 料 )	222	383	172.1
資 産 運 用 収 益	0	0	125.0
保 險 引 受 費 用	75	175	233.1
資 産 運 用 費 用	-	-	-
経 常 利 益 ( 経 常 損 失 )	4	6	149.2
当期末処分利益( 当期末処理損失)	15	28	185.4

(4) 総資産

(単位：百万円、%)

区 分	平成 16 年度	平成 17 年度	
			対前年度比
総 資 産	573	806	140.6

(注) 主要業績中における各保険料の定義は下記のとおりです。

正味収入保険料 = 収入保険料 - 支払再保険料

元受正味保険料 = 元受保険料 - (元受解約返戻金 + 元受その他返戻金) - 収入積立保険料

収入保険料 = 元受正味保険料 + 受再正味保険料

## 2. 平成 17 年度資産運用状況

資産運用は銀行預金等の短期運用中心に行っており、運用利回りは 0.02% です。

### 3. 貸借対照表

(単位：百万円、%)

期別 科目	平成 16 年度 (平成 17 年 3 月末現在)		平成 17 年度 (平成 18 年 3 月末現在)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)					
<b>現金及び預貯金</b>	<b>463</b>	<b>80.9</b>	<b>575</b>	<b>71.4</b>	<b>111</b>
現金	0	0.0	0	0.0	-
預貯金	463	80.9	575	71.4	111
<b>不動産及び動産</b>	<b>48</b>	<b>8.5</b>	<b>76</b>	<b>9.5</b>	<b>27</b>
建物	36	6.4	53	6.6	16
動産	12	2.1	23	2.9	11
<b>その他資産</b>	<b>60</b>	<b>10.6</b>	<b>154</b>	<b>19.2</b>	<b>93</b>
再保険貸	0	0.0	6	0.8	6
代理業務貸	10	1.9	24	3.1	13
未収金	4	0.7	20	2.5	16
未収収益	0	0.0	0	0.0	0
預託金	36	6.4	64	8.0	28
仮払金	1	0.3	28	3.5	26
その他の資産	7	1.2	9	1.2	2
<b>資産の部合計</b>	<b>573</b>	<b>100.0</b>	<b>806</b>	<b>100.0</b>	<b>232</b>

(単位：百万円、%)

期別 科目	平成 16 年度 (平成 17 年 3 月末現在)		平成 17 年度 (平成 18 年 3 月末現在)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	
(負債の部)					
<b>保険契約準備金</b>	<b>111</b>	<b>19.5</b>	<b>196</b>	<b>24.3</b>	<b>84</b>
支払備金	12	2.2	27	3.4	14
責任準備金	98	17.2	168	20.9	69
<b>その他負債</b>	<b>37</b>	<b>6.5</b>	<b>29</b>	<b>3.6</b>	<b>7</b>
再保険借	0	0.0	3	0.4	3
預り金	4	0.7	5	0.7	1
未払金	18	3.3	20	2.5	1
仮受金	14	2.4	0	0.0	13
退職給付引当金	52	9.2	72	9.0	20
本支店勘定	54	9.4	3	0.5	50
<b>負債の部合計</b>	<b>255</b>	<b>44.6</b>	<b>301</b>	<b>37.4</b>	<b>46</b>
(資本の部)					
<b>持込資本金</b>	<b>333</b>	<b>58.1</b>	<b>533</b>	<b>66.1</b>	<b>200</b>
<b>剰余金</b>	<b>15</b>	<b>-</b>	<b>28</b>	<b>3.5</b>	<b>13</b>
当期末処分利益	15	-	28	3.5	13
(当期末処理損失)					
(当期純利益)	( 41)	(-)	( 13)	( 1.6)	(28)
(当期純損失))					
<b>資本の部合計</b>	<b>317</b>	<b>55.4</b>	<b>504</b>	<b>62.6</b>	<b>186</b>
<b>負債及び資本の部合計</b>	<b>573</b>	<b>100.0</b>	<b>806</b>	<b>100.0</b>	<b>232</b>

(注記事項)

1. 不動産及び動産の減価償却方法及び減価償却累計額  
不動産及び動産の減価償却方法は定額法により行っております。なお、動産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っております。  
平成17年度末における不動産及び動産の減価償却累計額は36百万円です。
2. 外貨建資産・負債は決算日の為替相場にて円換算しております。
3. ソフトウェアの減価償却の方法  
その他資産に計上している自社利用のソフトウェアの減価償却方法は、利用可能期間に基づく定額法により行っております。
4. 当期より、固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成14年8月9日)及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号平成15年10月31日))を適用しております。なお、これによる影響額はありません。
5. 退職給付引当金の計算基準  
退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職給付に係る会計基準(「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」平成10年6月16日企業会計審議会)に基づく小規模企業等における簡便法を採用しております。
6. 消費税の会計処理方法  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。
7. 供託金  
保険業法第190条にて定めのある保険契約者保護のための供託に関しては、BNPパリバ銀行による銀行保証契約をもってそれに代わるものとしているため、貸借対照表上資本の部には表記されておられません。
8. 金額は記載単位未満を切捨てて表示しています。

## 4. 損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目		平成 16 年度 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで		平成 17 年度 平成17年4月 1日から 平成18年3月31日まで		比較増減
		金額	増減率	金額	増減率	
経常 損益の 部	経常収益	422	30.5	622	47.5	200
	保険引受収益	283	46.9	375	32.7	92
	正味収入保険料	222	56.6	375	68.8	153
	支払備金戻入額	29	1495.8	-	100.0	29
	責任準備金戻入額	30	73.2	-	100.0	30
	資産運用収益	0	6.7	0	25.0	0
	利息及び配当金収入	0	6.7	0	25.0	0
	その他経常収益	138	86.0	246	77.7	107
	経常費用	426	7.4	629	47.5	202
	保険引受費用	75	47.5	175	133.1	100
	正味支払保険金	19	10.4	24	29.1	5
	損害調査費	28	69.8	29	5.1	1
	諸手数料及び集金費	27	74.4	36	31.1	8
	支払備金繰入額	-	-	14	-	14
	責任準備金繰入額	-	-	69	-	69
	資産運用費用	-	-	-	-	-
	営業費及び一般管理費	350	10.7	453	29.3	102
	その他経常費用	0	139.7	0	77.3	0
	経常利益（ 経常損失）	4	-	6	49.2	2
特 別 損 部	特別利益	-	-	-	-	-
	特別損失	0	217.7	0	135.0	0
	不動産動産等処分損	0	217.7	0	135.0	0
税引前当期純利益 （ 税引前当期純損失）		4	-	7	51.6	2
法人税及び住民税		36	1.6	6	83.5	30
当期純利益（ 当期純損失）		41	-	13	68.3	28
前期繰越利益（ 前期繰越損失）		26	-	15	-	41
本社送金		-	-	-	-	-
当期末処分利益 （ 当期末処理損失）		15	-	28	85.4	13

(注記事項)

- (1) 正味収入保険料の内訳は次のとおりです。

収入保険料	383 百万円
支払再保険料	7 百万円
差引	375 百万円
- (2) 正味支払保険金の内訳は次のとおりです。

支払保険金	24 百万円
回収再保険金	-
差引	24 百万円
- (3) 諸手数料及び集金費の内訳は次のとおりです。

支払諸手数料及び集金費	42 百万円
出再保険手数料	5 百万円
差引	36 百万円

(4)利息及び配当金収入の内訳は次のとおりです。

預貯金利息 0百万円

2. 金額は記載単位未満を切捨てて表示しています。

## 5. 債務者区分による債権およびリスク管理債権の状況

該当保有債権はありません。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成 16 年度末	平成 17 年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	576	775
資本の部合計 ( 社外流出予定額及び繰延資産計上額を控除する。外国保険会社にあたっては供託金の額 )	200	200
価格変動準備金	-	-
異常危険準備金	58	70
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額 × 90% ( マイナスの場合 100% )	-	-
土地の含み損益 × 85% ( マイナスの場合 100% )	-	-
社員配当準備金	-	-
税効果相当額	-	-
払戻積立金超過額	-	-
外国保険会社等の持込資本金及び剰余金 ( 本店送金予定額を除く )	317	504
負債性資金調達手段等	-	-
控除項目	-	-
リスクの合計額 $\{R_1^2 + (R_2 + R_3)^2\} + R_4 + R_5$ (B)	15	39
一般保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	14	37
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	-	-
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	4	5
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	0	1
巨大災害リスク相当額 R <sub>5</sub>	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	7277.6%	3911.2%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第 161 条、第 162 条及び平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています。

2. 「資本の部合計」は、保険業法第 190 条にて定めのある供託金に代わる銀行保証契約の契約金額を記載しています。